

目次

はじめに

序章	筑波研究学園都市の時期区分と記述の視点	1
序1	研究の目的と方法	1
序2	時期区分	2
序3	記述の視点	5
第1章	第1期：閣議了解から概成まで	9
1.1	本章の目的	9
1.2	筑波地区への都市機能移転決定	9
1.3	マスタープラン等の変遷	11
1.4	筑波研究学園都市建設法	23
1.5	都心地区と周辺部における主要施設整備	25
1.6	移転初期の生活と交通問題	29
1.7	分散型都市の骨格形成と官による都市の「概成」	32
第2章	第2期：官・民による都市機能の充実・発展期	35
2.1	本章の目的	35
2.2	科学万博と万博関連を含む都心地区整備	35
2.3	周辺部における都市開発とスプロールの進展	39
2.4	つくば市の成立	43
2.5	独自の都市づくり	44
2.6	研究交流・市民交流活動	47
2.7	官と民による都市機能の充実と面的拡大	50
第3章	第3期：つくばエクスプレス開通後	52
3.1	本章の目的	52
3.2	つくばエクスプレスと沿線開発	52
3.3	都心部の整備と副都心形成	63
3.4	社会情勢等の変化にともなう諸課題と対応	66
3.5	交通問題	70
3.6	研究学園地区建設計画等	72
3.7	将来のさらなる発展への取組み	75
3.8	民による都市機能の充実と成熟への期待	78

第4章	関西文化学術研究都市	81
4.1	本章の目的	81
4.2	都市の概要	81
4.3	ファースト・ステージ	87
4.4	セカンド・ステージ	91
4.5	サード・ステージ	94
4.6	課題と筑波研究学園都市との対比	95
第5章	まとめ：視点別の考察と総括	98
5.1	本章の目的	98
5.2	筑波研究学園都市の変遷の概要	98
5.3	視点別の考察	98
5.4	筑波研究学園都市の形成過程と諸課題の総括	104

謝辞

参考文献リスト